

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間： 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで )

### 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立東文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化国際部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和 2 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで ( 5 年間 )	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること</li> <li>・ ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと</li> <li>・ 施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること</li> <li>・ 消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること</li> <li>・ 市から貸与を受けた備品を適切に管理すること</li> <li>・ 利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと</li> </ul>	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 開場時間	(10) 休館日
9時00分から22時00分まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週水曜日 (祝日の場合は開館)</li> <li>※ホール棟のみ</li> <li>・ 毎年12月29日～1月4日</li> </ul>
(11) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	b	b
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	b	b
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	b	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	b	b
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	b	b
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	b	b
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	b	b
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	b	b

## イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心な施設運営を維持するため、適正な人員配置と役割分担を明確化し、多様な事業運営を踏まえ、危機管理マニュアルの理解と運用を職員全員で実施し、意識の維持向上のため、内外の研修機会への参加を促進し、利用者の安全管理、情報管理に配慮した。</li> <li>また施設の巡回点検を実施し、適宜修繕も対応した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東文化会館が複合施設内に位置していることから、アミナス北野田及びベルヒル北野田と連携して防災・防犯対策を行うことで、施設の安全管理の一助としている。</li> <li>また、事業においては、近隣の学校、文化団体をはじめとする地域住民や利用者との連携を積極的に図るなど、地域文化会館として地域貢献に取り組んでいる。</li> </ul>

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	128,212	178,829	183,893
稼働率(単位:%)	81.5	82.1	80.3
利用者満足度(単位:%)	95.0	97.0	96.0

## イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	b	b
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	b	b
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	b	b
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	b	b

## ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<p>利用者のニーズに応える施設運営並びに事業を行うため、文化講座・自主事業・貸館利用者を対象にモニタリング調査(アンケート)を実施し、利用者アンケートを通じてニーズを把握し、得られた要望や意見を施設運営計画や事業計画に反映することで利用者の期待に応える施設運営を推進した。</p>	<p>稼働率及び利用者満足度について、令和5年度よりもやや下がったものの、利用者アンケートを通じたニーズ調査を行い、利用者意見を施設運営に反映することで、高水準を維持している。</p>

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■指定管理業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名		公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
収入	指定管理料	112,959,474	112,851,038	112,962,849	112,919,000
	利用料金	39,671,212	38,363,128	40,907,170	48,000,000
	負担金	0	0	0	0
	その他	10,706,316	10,181,646	7,395,522	6,651,000
	合計	163,337,002	161,395,812	161,265,541	167,570,000
支出	人件費	57,216,453	55,840,593	56,663,342	58,188,000
	委託料	72,742,834	71,838,167	72,838,269	71,796,000
	総支出額に占める 委託料の割合	43.0%	43.8%	43.6%	42.8%
	修繕費	2,131,107	2,723,903	2,705,984	3,000,000
	光熱水費	25,978,270	20,514,236	23,000,028	21,000,000
	その他	11,168,980	13,139,669	11,988,889	13,586,000
	合計	169,237,644	164,056,568	167,196,512	167,570,000
収支差額		-5,900,642	-2,660,756	-5,930,971	0
(市への納付金の額)		0	0	0	0

## ■自主事業

(有)

(単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収入		1,833,124	1,204,917	1,148,793	1,679,000
支出		1,890,243	993,878	707,197	1,402,000
収支差額		-57,119	211,039	441,596	277,000
(市への納付金の額)		0	0	0	0

## イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を縮減するための十分な取組が図られているか。	b	b
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	c	c
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	b	b
経理事務は適正に行われているか。	b	b

## ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> <li>経費縮減では景観照明の終業以降の消灯や諸室空調停止を徹底し、収入増の取組に関しては施設利用日直前まで可能な限り申込受付を実施した。</li> <li>予算執行では文化芸術振興事業などで委託料高騰を受け予算増となった。</li> <li>経理事務では会計システム上の収入額と小口現金について毎日複数人での確認を実施するなど、事務の適正化に向けた体制を維持した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおむね予算どおりとなった支出に対して、利用料金収入が予算比約15%減となったため、収支全体としてはマイナスとなった。</li> <li>施設稼働率の向上にもつながるため、貸館利用を増加させるための取組として、周辺の小中学校や企業へのアプローチも必要であるとする。</li> </ul>

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

## ■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	18回
ギャラリー活用事業	3回以上	3回
生涯学習施設活用事業	12回以上	38回

## ■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	250,000人以上	183,893人
施設稼働率	85%以上	80.3%
満足度	利用者の満足度:90% 文化芸術振興事業に対する満足度:90%	利用者満足度:96% 文化芸術事業満足度:94%

## ■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	51,600,000円	40,907,170円

## イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<p>・文化芸術振興事業を主催・共催合わせて22事業実施し、そのうちホール・ギャラリー・生涯学習施設の各活用事業を34回実施した。</p> <p>・利用者数に関しては両施設のロビーやエントランスにてロビーコンサートやフリースペース活用など日常的な利用促進に取り組んだが、事業数の縮小、高齢利用団体の解散などで、施設全体の利用者数は対目標73%、施設稼働率は令和5年対比2%減の80.3%となったが、施設満足度は96%、文化芸術振興事業では94%の評価を得た。</p>	<p>・事業の実施については、いずれも目標を達成しており、かつ文化芸術振興事業に対する満足度も高水準を維持していることから、利用者ニーズに応じた事業展開ができていくといえる。</p> <p>・なお、利用者数については、ロビーコンサートの実施等の実施により令和5年度よりも増加したものの、目標人数には至っていない。</p>

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

評価	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<p>・利用者の次世代層に向け「日常生活の延長としての学びや体験の場」の提供が重要となり、施設の通信環境の整備、設備機器の更新が急務である。</p> <p>・地域情報と地域コミュニケーションが得やすく、安全安心な魅力ある施設を提供し、利用者数及び稼働率の向上と利用料金収入の改善に繋げることが必要であり、ロビーコンサートや自習スペースの設置により利用者数の増加に取り組んできたが、目標達成には至らなかった。</p> <p>・また、施設利用の祝祭日偏重を改善するため、立地を生かし企業研修、MICE、学校行事、配信イベントなど平日利用の誘致が必要である。</p>	<p>令和5年度と比較すると、利用者数及び利用料金収入は微増となったが、特に多目的室等の施設稼働率は伸び悩んでいる。駅直結という利便性の高さを生かし、企業の説明会や講演会等の利用など、新規利用者の獲得に努め、目標数値の達成に向けて積極的に取り組む必要がある。</p>

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの